

1・軍人會館正面全景、清水組施工。

軍人會館新築工事概要

〔位置〕 東京市麹町區九段一丁目五番地半
ヶ淵公園内

〔敷地〕 面積1,844坪1合6勺にして南方
は宮城御濠を隔て、近衛歩兵營に隣り東南
方は愛國婦人會本部に接し北方は前庭を開
して九段坂に面す。

〔建物〕 鐵骨鐵筋コンクリート造にして地
下一層地上四層屋上に所要の塔屋を附設す
其の概要次の如し。

1、建築面積 941坪755

2、延面積 4,370坪523

内 譯

地 階 1,030坪198

一 階 941坪755

二 階 759坪080

三 階 822坪170

四 階 662坪020

屋 階 155坪300

外に二階建鐵筋コンクリート造自動車々庫
及會館宿舍1棟延70坪及平家建鐵筋コンク
リート造屋外便所1棟3坪9あり

〔建築様式〕 日本趣味を基調とせる近代式

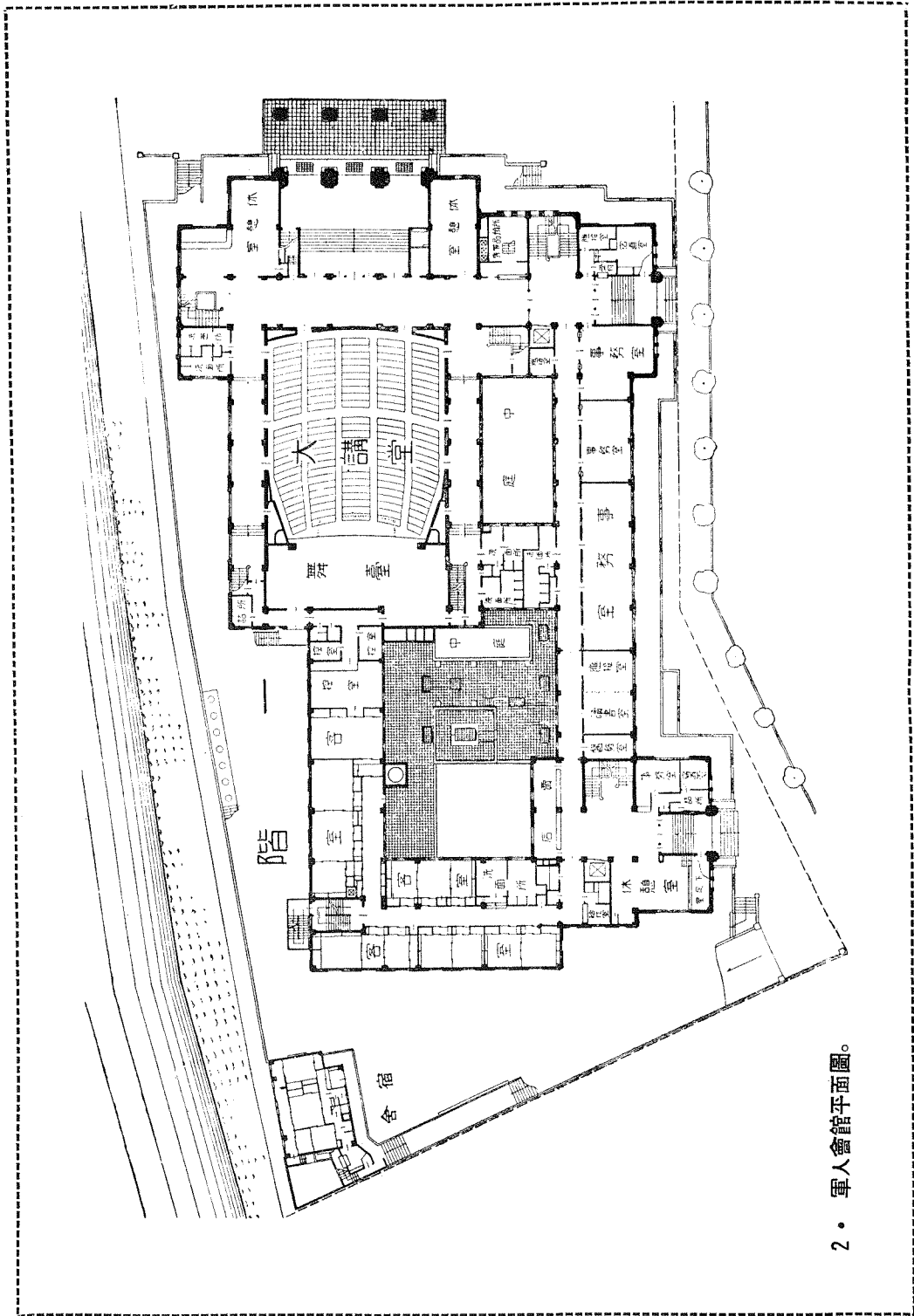
〔建築各部分の構造〕

1、軒 高 64尺5寸但し塔屋最高部迄
90尺9寸7分

2、基 礎 鐵筋コンクリート杭上に築
造せる鐵筋コンクリート基礎

3、軸部主體 柱及梁は鐵骨鐵筋コンク
リート造、屋根、床及壁は鐵筋コンクリ
ート造

4、間仕切壁 階段室廻り及大講堂の廻り
等主要間壁は鐵筋コンクリート造其の他
は主として鐵骨ラス張構造とし極めて輕
微なるものは木造とす



2. 軍人會館平面圖。

5、外部仕上 地階及1階擬石張、2階及3階はスクラッチタイル張、塔屋屋根青綠色陶器製瓦、陸屋根クリンカータイルとす

6、内部仕上 講堂部、事務室部、宿泊部に大別し各房室の用途に応じ天井、壁、床は各々其の仕様を變異し大理石、花崗石、ラフコート、テツキス、漆喰、裂地、タイル、寄木、リノリウム、畳等を用ひ高尙にして質實剛健なる色合、意匠、材料を按排調和せしめたり

7、建具 大講堂、本部及宿泊部の各玄關はブロンズ製其の他外廻り地階及階段廻りは鐵製其以外は概ね木製とし和式宿泊室は日本障子及襖等を適當に使用す

〔特種設備〕

1、電氣設備

イ、電燈及動力用電氣設備

三相交流 3,000 ボルト 引込自家用電氣として夫々 200 ボルト及 100 ボルトに減壓し電燈用 300 キロ 動力用 225 キロの變電設備を有し各室の照明コンセント及各種動力に使用するものとす尙非常停電に備ふる爲 2 キロ 非常用自動發電機を設備す

講堂映寫用として直流 5 キロ水銀整流機を設備す又舞臺照明の爲ボーターライト、フットライト及調光用抵抗器及オートトランス等を設備す

ロ、其の他弱電設備

電話交換機は局線 10 回線、私設線 60 回線を交換する設備を有し夫々所要の房室に配線して卓上電話器に通し其の他電鈴、電氣時計、非常報知機及事務室には登退標示機を設備す

右の外館内ニヶ所に公衆電話を設備す

2、煖房及換氣

低壓前田式汽罐三臺に依る直接蒸氣煖房にして特に大講堂、大集會室及大食堂は換氣用空氣を加熱して間接煖房を行ひ尙

地階に空氣洗淨裝置を設け鑿泉に依る地下水を使用せるを以て夏期は此作用に依り空氣冷却の目的を達するものとす

直接煖房は講堂部、事務室部、宿泊部、印刷部、食堂、喫茶部等の六系統に區分し夫々地階汽罐室に於て單獨に通氣し得る設備を施せり。汽罐は總て自働給炭裝置を有する石炭焚にして、重油焚の場合をも顧慮しあり

便所、厨房及配膳室には夫々換氣裝置を設け特に映寫室には獨立せる換氣裝置を設く

3、衛生、給水、給湯、蒸氣、排水設備

便所は全部水洗式にして汚物、汚水は市設大下水に直接放流し雨水のみは別に西隣水濠に流出せしむ

洗面所其の他の要所に給湯設備を施し又厨房、浴室及洗濯室には夫々其の用途に應じ蒸氣供給の設備を施せり之か爲地階に日立製作所高壓汽罐二臺を設く、一般雑用水は深さ百尺一晝夜一萬石の揚水量を有する鑿泉水を使用し特に飲用に供するため市上水道に依る給水を引込めり

4、其他の設備

イ、昇降機及調理用リフト

本部及宿泊部側に 12 人乗日本エレベーター會社製昇降機一臺宛を設け地階より四階迄の昇降に便す又料理用リフトは大食堂側に三臺、宿泊部側に一臺を設け地階調理室より四階迄昇降し運搬用に供す

ロ、消火栓

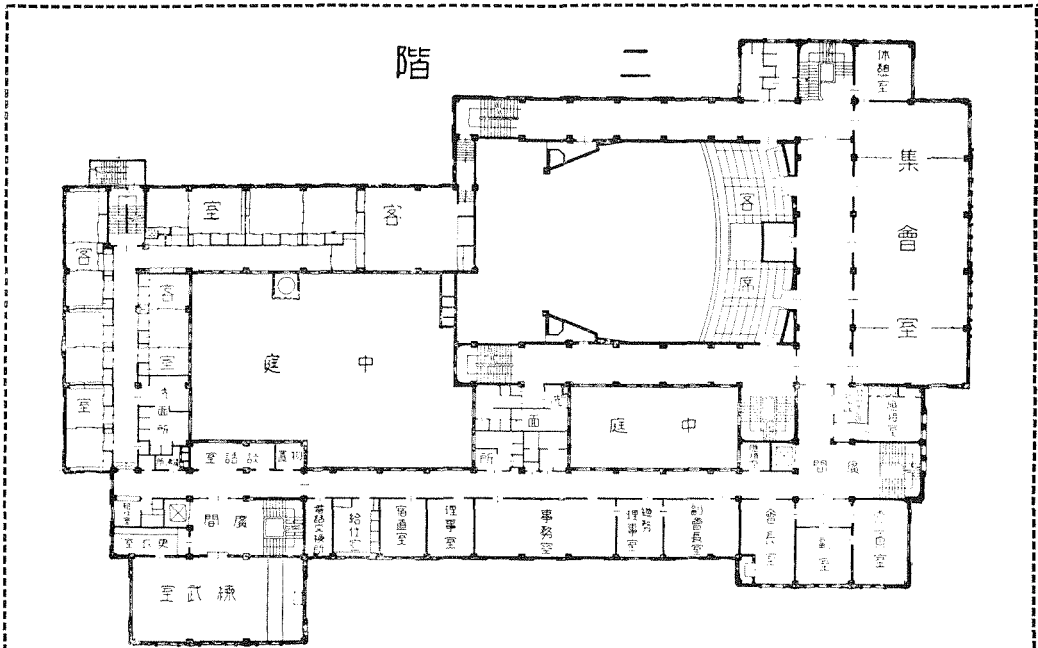
館内 26ヶ所に消火栓を設け非常防火の用に供す

ハ、擴聲機

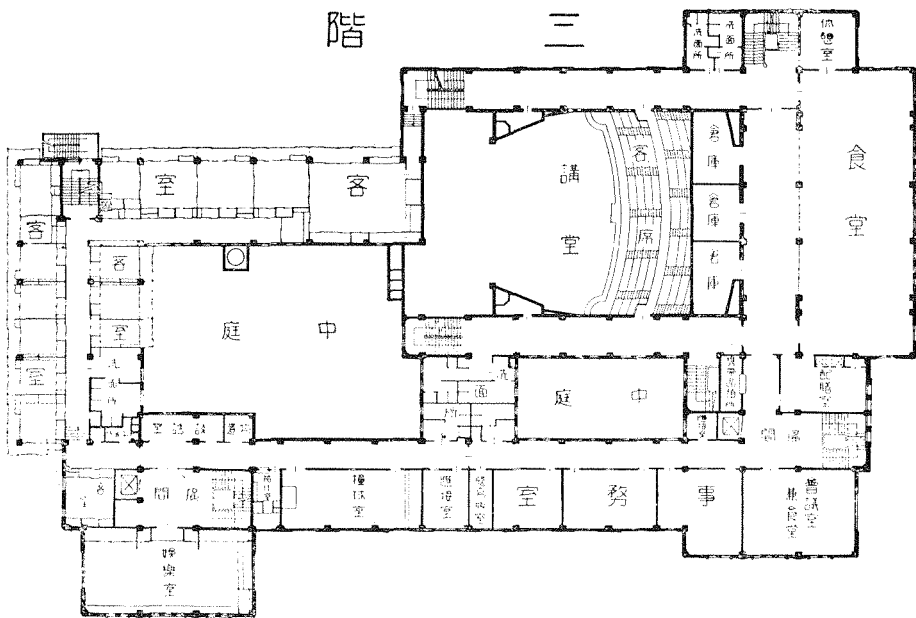
館内 12ヶ所に擴聲機を設備し臨機使用に便す

ニ、冷凍機

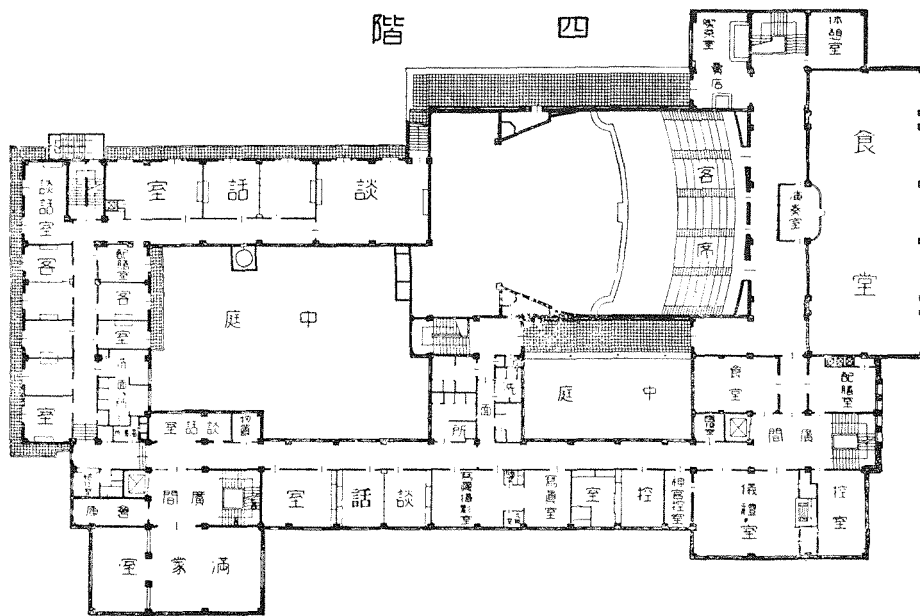
厨房及調理室にメタルクロライドに依る冷凍機を設備す



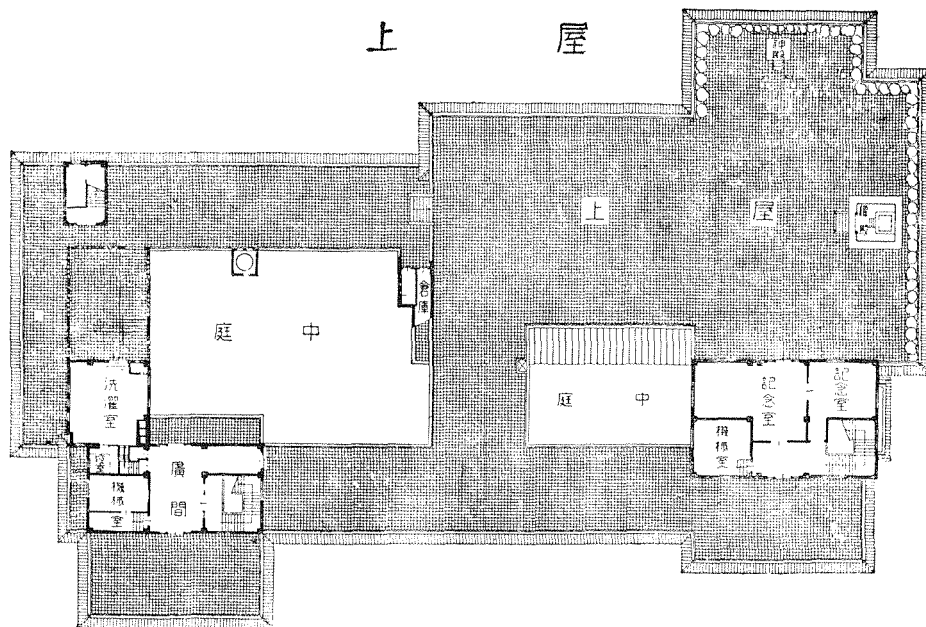
3. 軍人會館平面圖。



4. 軍人會館平面圖。



5. 軍人會館平面圖。



6. 軍人會館平面圖。



7・軍人會館貴賓室。

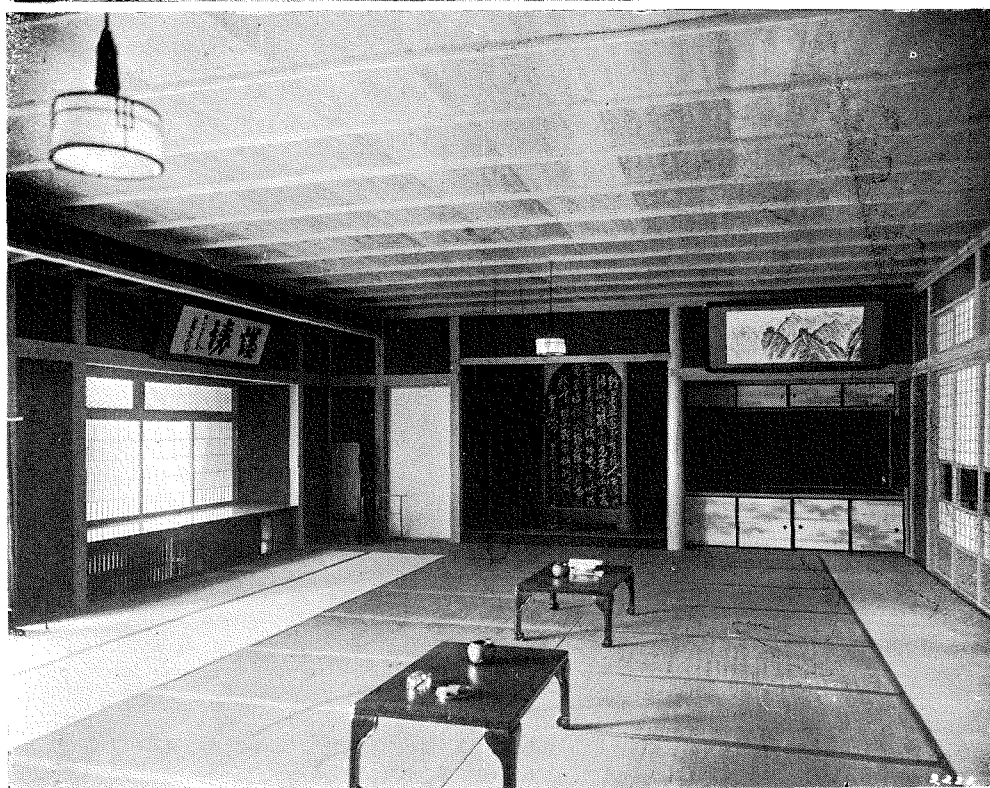


8・軍人會館階段室。

9・軍人會館洋風宿泊室。



10・軍人會館和風宿泊室。



11・12・軍人會館大講堂。



壽式連結椅子(壽商店納入)





ホ、洗濯設備

屋階洗濯室内に洗濯機、遠心分離機等を設け洗濯の用に供す

へ、瓦斯

厨房、配膳室、湯沸室、湯呑所、其の他必要の個所に瓦斯管を布設し所要に備ふ

ト、舞臺設備

講演は勿論、劇、舞踊、音楽、演藝等に必要なる大小道具、ピアノ其の他釣物装置等概ね一通り設備す

チ、塵芥焼却器

館内に生ずる屑物、塵芥を処理するため三機式塵芥焼却器を設く

リ、神殿及權殿

屋上に會館守護神を奉祀する神殿及靖國神社御靈の臨時移御用社殿なる權殿を設く

〔工期〕 昭和七年二月起工 昭和九年三月竣工

〔工事費〕 諸設備一切を含み約二百五十萬圓

〔主なる材料〕 鐵骨鐵筋 3,616噸
セメント 40,000樽

〔諸職工延人員〕 十六萬五千人

〔工事設計及監督〕

工事主	財團法人	軍人會館
技術顧問	工學博士	伊東忠太
技師長	工學士	川元良一
技師		三日市勝三郎

〔建築工事請負者〕

主體工事	合資會社	清水組
	株式會社	弘電社
附帶工事	合資會社	建材社
	株式會社	須賀商會
大講堂椅子		壽商店